



楽しみながら情報を探すには？

知能工学科 人間情報学講座 梶山朋子

<http://www.cm.info.hiroshima-cu.ac.jp>



検索インタフェースと知識創造活動への応用

人と検索システムを直接つなぐ大きな役割を担っているのが、検索インタフェースです。探したい情報が**ぼんやりしている時**、検索システムに自分の思いを伝えることができず、困った経験はありませんか？人が文字を入力せずに、**直観的に情報を探す**ことができる検索システムのデザインを目指しています。



リング図鑑<植物> (特許第 4441685 号の実用化)

検索の切り口を表す**リングを組み合わせる**ことで、植物を探します。

7つの検索の切り口(花の色や季節、葉の形や付き方など)

↓ 検索の切り口を選択

検索の切り口を表すリング(検索の切り口に対する検索条件の整列)

↑↓ リング回転による検索条件の調整

リングの「時計の6時の位置にある値」を検索条件とした検索結果

※左図は、花の色が「黄色」で、葉の形が「細長い」植物を探している様子

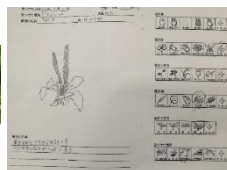
道端に咲いている花の名前を調べるなど、**発見学習支援ツール**として、小学校の授業で活用されています。



校舎周辺で植物を撮影する



写真から特徴をとらえる



アプリや図鑑で調べる



見つけた場所に植物名を貼る

感情の色彩化・推定と購買活動への応用

購買行動において、**商品に対する期待度**と**商品消費後の満足度**には、相互関係があるといわれています。期待度が高すぎると満足度は低くなる傾向にあり、悪い口コミが広がる可能性が出てきます。一方、期待度が低すぎると、そもそも商品を購入してもらえなくなる可能性が出てくるため、**機会損失**につながります。**商品本来の価値**で評価されるよう、期待度と満足度を近づけるために、**消費者の感情を色彩化**し、商品パッケージに適用する手法について研究しています。

また、色彩心理学の分野では、**人が選択した色彩**をもとに、その人の**感情を推定**できるといわれています。**色彩と感情の関係性を表現したデータベース**を活用し、潜在顧客をとりまく色彩情報から**商品探索過程における感情を推定**、視線情報から興味を推定し、商品を推薦する手法について研究しています。

